

事務事業名		こども郷土芸能まつり開催支援事業				☐ 実施計画掲載事業		☐ 総合戦略掲載事業				
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進				事業期間		予算科目				
	施策名	18 地域の歴史・文化資源の継承						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 伝統文化の継承						01	10	05	02	12
根拠法令						☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) 年度～ ☐ 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度  ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課						A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	課長名	熊谷 善男										
	係名	文化財係	電話	27-3111								
	担当者	佐藤 博崇	内線	273								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市内に伝承されている郷土芸能の保存伝承に取り組む青少年に対し、日頃の成果を広く紹介する機会を提供し、後継者の育成を図るとともに、青少年の自信と誇りを培うことを目的として実施する大船渡市こども郷土芸能まつり開催に係る補助金を交付する。						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
						総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
									都道府県支出金			
									地方債			
									その他			
									一般財源			
							事業費計(A)	0				
							人件費	正規職員従事人数				
								延べ業務時間				
							人件費計(B)	0				
							トータルコスト(A)+(B)	0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
実績なし(子ども郷土芸能まつりは隔年開催のため休止)		ア	補助金交付回数
		イ	
		ウ	
今年度計画(今年度計画している主な活動)			
こども郷土芸能まつりの開催支援補助			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
こども郷土芸能まつり実行委員会		名称	
		単位	
		カ	こども郷土芸能まつり出演団体
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
円滑に事業を運営してもらう		名称	
		単位	
		サ	市補助金額
		シ	千円
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
次世代に継承される			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
		千円						
		千円						
		千円						
	人件費	千円		626		800		800
		千円	0	626	0	800	0	800
		人		3		3		3
		時間		15		15		15
		千円	0	60	0	60	0	60
	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	686	0	860	860
⑤ 活動指標		回	—	1	—	1	—	1
⑥ 対象指標		団体	—	7	—	8	—	8
⑦ 成果指標		千円	—	626	—	800	—	800

事務事業ID	1057	事務事業名	こども郷土芸能まつり開催支援事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

旧三陸町で合併前から「三陸郷土芸能まつり」として実施していた。合併後は青少年が郷土芸能を披露する場として後継者育成という主旨で実施している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

近年、郷土芸能の後継者不足が懸念されており、対策が必要である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

住民、郷土芸能団体から継続して実施して欲しいとの意見がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 郷土芸能に携わる青少年の自信と誇りが培われる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 後継者育成を主旨とした必要な事業であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 発表としての場だけでなく、郷土芸能に携わっていない青少年に興味を抱かせる場にするなど、更に後継者育成に繋げるため、事業のあり方を検討する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 郷土芸能の青少年の発表の場が少なくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減すると出演団体の削減に繋がるため、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 大船渡市郷土芸能協会で運営できれば、人件費削減に繋がる。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 入場料無料で、一般に公開しているので公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果	
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等			
こども郷土芸能まつりのあり方を見直し、更に郷土芸能の伝承、後継者の育成に繋げる事業にする。運営主体の検討など、大船渡市郷土芸能協会と協議が必要である。			

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	●		×
	低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 ① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 子どもが出演する郷土芸能発表会であるが、後継者育成にどの程度寄与しているか、事業効果の検証が必要である。また、当該事業以外に、後継者確保の取組ができないか更なる検討を要する。
---	--